

沖縄会 活動報告

一般社団法人 沖縄県建築士事務所協会
次世代委員会

■ 次世代委員会の創設

2013年から沖縄県建築士事務所協会に「次世代委員会」が創設された。

委員会の活動目的として、規約では「厳しくなる建築士業務に対応するため、社会的な道義性を持って業界に改善、改革を促し、調査、研究、提言を行い、建築士事務所の適正な運営と健全な発展に寄与する」とある。担当副会長を置かず会長直属の委員会で、15人程度の委員構成、オブザーバーの参加も可能であり、他の委員会と比べて変わった特色がある。

次世代委員会創設の話は、2012年10月に東京で行われた建築士事務所協会全国大会の懇親会の時に、当時の沖縄会の仲元会長からいただいた。仲元会長は九州、全国の会議等に参加、交流するなかで、これからの建築士事務所の発展の為には、青年世代の考えや活躍の場を広げていく必要があると認識しており、委員会創設に向けて取り組んでいく事になった。

■ 次世代委員会の根幹

私達は2010年に「二改一革の会」という任意団体を創った。会員は当初8名からのスタートだったが、現在は12名で、40代を中心とした設計事務所経営者の集まりである。

会の目的・コンセプトは

1. 我々は自らの名誉や利益の為ではなく、人の為、公の為に
いう他を利する姿勢を志して活動する
1. 我々は社会的な道義性を持って活動する
1. 我々はサステナブルな価値観をベースに活動する
1. 我々は自らの人生において、自分自身のプリツカー賞を獲
得する為に沖縄の建築業界に改善、改革、革命を促し、次
世代にいい形でバトンタッチできるよう努める

2ヶ月に1回程度の会合を行い、活動内容を模索していた矢先に次世代委員会創設の話があった。それぞれの会の目的が一致する部分もあり、まずは協会会員である二改一革の会会員の7名で次世代委員会はスタートし、現在は10名の委員と賛助会員や非会員の5名のオブザーバーで構成されている。

本会においての次世代委員会の分掌業務として

1. 次世代間及び現世代との交流活動に関する事
2. 会員以外の次世代建築士事務所との交流活動に関する事
3. 建築士事務所業務の調査、研究、課題整理、提言に関する事



集落保存研究会（二改一革の会）

■ 次世代委員会の具体的活動内容

- 2013年 4月：沖縄県建築士事務所協会 次世代委員会規約施行
- 2013年 7月：平成25年度第1回次世代委員会開催・交流会
- 2014年 2月：建築確認申請業務に係る勉強会：沖縄建築確認検査センター(株)
- 2014年 10月：建築設計三団体座談会（次世代会員、協会創立60周年記念事業）
- 2015年 2月：建築士事務所業務に係るアンケート調査
- 2015年 12月：うるま市庁舎完成見学会
- 2016年 3月：意見・情報交換会：沖縄建築確認検査センター(株)
- 2016年 9月：建築設計三団体意見交換会・交流会（正副会長&次世代会員）
- 2016年 10月：おきなわ建設フェスタ参加



建築設計三団体座談会



沖縄建築確認検査センター(株)との意見・情報交換会



うるま市庁舎完成見学会



■ 次世代委員会の今後の活動の方向性

- 次々世代にいい形で繋いでいく上で、建築設計技術者不足（構造、設備含む）への対応
- 一般消費者向けにPRし協会の内容を理解してもらう為に、建築士事務所協会のPR活動の推進
- 建築士事務所業務の円滑な改善改革
- 入札やプロポーザル等における行政側への積極的な要請
- 建築確認申請の円滑化を図る為の確認審査機関との連携

等々の課題解決に向け、建築士会や建築家協会等他団体との協働も図り、会の目的を果たすべく委員一同真摯に取り組み、協会会員、業界の皆様のご要望、ご期待に対応出来る委員会づくりに務めていく所存である